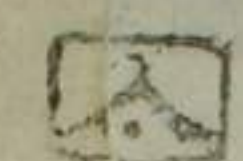


米



和久

合

序

むく竹取の翁といふ祖父
 けり。山井といふ小姓
 いみへと綴り。日井蓬菜といふ
 号。海瑞瑞といふゆり。年何り
 今又あそぶかくや姫の廓へ
 進出する今程の習さ極とほら

へ13
4338

<2003-077>

み
か
ま

きぐ小傾城蓬萊山と古記と新
しぐ。うまは櫻でんくの眼も喜は
日のちぐささうりこさど。心ゆり
あましく祝ひんり〜

室磨丸

甲乃幼喜

作者

八文字

李秀

日自笑



群情蓬萊山

目錄



一之巻



才一似我蜂の巣了し女息女

子と控る教いあまども此保の松原ハ

まてしぬま建付老りがやく即許

るからりて歩ひてらるる毎人の雛

才二

一 狐の穴より 父母子息

系図窮い 此の仇と 為る 髪の新文

一 盃くみぬ 流石の大小 福の法まらぬ

此のころ ちやうとして 揮七が 忍智急

才三 外 猪の皮より 大工婚

意よ ころる 新関い あ恵も 毎登が 産

ころ 運ま ころる 手袋の 糸探 ころる 小ぬ

十 落 登 ころる ころる 妹背の け 算

才一 似 我情の 巢ふし 女のむしとめ

秦の始皇帝 不死の薬と 求めん ころる 方士 和と 藤

して 日域 小 後り 後加 富士 小 ころる 論 化 境 ころる

謂り 彼 ころる ころる 人 け 所 ころる 集り ころる 事 古 来 強 中 ころる

は ころる 天 人の 天 降り ころる ころる 女 の 事 ころる 酒 跡 の 小

加 十 年 の 齡 五 義 滅 却 の 時 ころる 人 ころる ころる ころる ころる

樂 ころる じ 節 ころる 人 倫 の ころる ころる ころる ころる ころる ころる

菊 ころる ころる ころる ころる ころる ころる ころる ころる ころる ころる

と 同日 ころる ころる ころる ころる ころる ころる ころる ころる ころる ころる

た の ころる ころる ころる ころる ころる ころる ころる ころる ころる ころる

ら ころる ころる ころる ころる ころる ころる ころる ころる ころる ころる



山
の
影

山
の
影



山
の
影

山
の
影

山
の
影



